

公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート

【公益法人用】

団体名称	(公財) 千葉県文化振興財団	所管所属名称	文化振興課	評価実施年度	令和6年度	※1【説明】は評点をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評点をつけた側の採点結果及び説明を受けて評点をつけていない側が所見を記入しています。			
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価			
				評点	説明又はコメント※1	評点	説明又はコメント※1		
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直しつてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4		【コメント】 ①～④財団設立以降、県全域の文化芸術振興に貢献してきたが、近年国では文化芸術に係る各種法律の制定、計画の策定が行われ、県においても千葉県文化芸術の振興に関する条例が平成30年に制定され、千葉県文化芸術推進基本計画が令和4年3月に策定されたところである。現在、文化芸術分野では、担い手となる後継者不足等が課題となっているが、令和5年度の千葉県誕生150周年を好機と捉え、記念事業を通じて県民の文化芸術活動の更なる活性化と本県ならではの文化芸術の創造発信に取り組むなど、県が策定した計画の目標達成に向けて、県と共に文化芸術振興に取り組んでいる。	1	【説明】 ④⑤これまで、平成28年決定の改革方針に沿って、経費削減、事業の充実、補助金獲得、会館運営のノウハウ蓄積、職員の育成等に取り組む、経営の安定を図ってきた。令和4年決定の経営方針に沿って、引き続き安定的な経営の維持に取り組んでいただきたい。		
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1			
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果と比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			1	県立文化会館4館の指定管理者として、4館連携による効果的な事業展開を図るとともに、多様な団体とのネットワークを活用し、県内全域にわたる文化芸術振興への一層の貢献を期待している。		
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体			1			
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5-2			1			
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 ③役員に民間人材を起用することで多角的な視点で意見をいただき運営に反映している。		【コメント】 ③団体からの要望により経営責任者（理事長）には県退職者を紹介している。なお、役員に文化芸術に精通した民間人材を起用することにより、専門的な視点を事業に反映させ、時代の流れやニーズを踏まえた文化事業の企画、質の高い文化会館の管理運営等につなげている。		
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	④指定管理施設を2館から4館に拡大したことに伴い、人員体制を整えるため、職員採用を拡大しており、若手職員の育成に力を入れている。				
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8	0	⑤千葉県文化会館が大規模改修による休館中だが、東総文化会館・南総文化ホール・青葉の森公園芸術文化ホールの県立文化会館3館の利用料金収入の確保に取り組むとともに、国や民間団体からの補助金や協賛金獲得、経費の見直し等により収支均衡に努めている。また、文化事業については、時代の流れや県民のニーズを踏まえた多彩な事業を企画し、各県立文化会館での公演に加え、アウトリーチ事業や地域公演として県内各地で展開し、千葉県全域の文化芸術振興が一層充実したものとなるよう取組んでいる。		⑤令和3年度に策定した経営計画（令和3年4月～令和8年3月）に基づき、県立文化会館4館の指定管理者としてのスケールメリットを活かし、文化事業の充実や経営の安定化に取り組んでいるところである。		
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8	1			令和5年度は千葉県文化会館の大規模改修に伴う休館による収入減や光熱費の高騰の影響を受ける中、経費削減に努めるとともに、3館の積極的な営業活動や、国等の補助金獲得など収入確保に取り組むことにより、経営状況は良好である。		
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9	1			令和5年度は千葉県文化会館の大規模改修に伴う休館による収入減や光熱費の高騰の影響を受ける中、経費削減に努めるとともに、3館の積極的な営業活動や、国等の補助金獲得など収入確保に取り組むことにより、経営状況は良好である。		
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 ⑤千葉県文化会館が大規模改修により休館中だが、県立文化会館4館の指定管理者としてのスケールメリットを活かした徹底した経費の見直し、他の3館の積極的な営業活動による利用料金収入の確保、文化事業に係る国等の補助金・助成金や企業協賛等の獲得など外部資金の活用を図り、安定的かつ持続的な経営に取り組んでいる。		【コメント】 ①～④千葉県文化会館の大規模改修に伴う休館による収入減や光熱費の高騰の影響を受ける中、積極的な営業活動により、文化会館の利用収入は増加した。また、国等の補助金獲得など収入確保に取り組むことにより、財務状況は良好である。		
	② 収入全体の状況 【公益法人用の評価項目】	1点：事業継続に必要な収入は確保できている。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	12	1			⑤令和5年度から約2年間の千葉県文化会館大規模改修工事に伴う休館のため、収支への影響が見込まれることから、引き続き更なる収入確保に向けた取組を推進する必要がある。		
	基本財産の状況 【公益法人用の評価項目】 ※繰越損益相当額がマイナスの場合、対前年度比で改善0点、同額又は悪化▲1点	1点：直近3年間はいずれも減少していない。 0点：直近3年間に減少した年度があった。 ▲1点：直近の決算は減少した。	10	1					
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5-2	1					
	財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体	1					
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援は受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	0	【説明】 ①文化振興施策の推進にあたっては、理事長として県退職者が適任である。		【コメント】 ①団体からの要望に基づき、県では退職者を紹介している。		
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			②～⑤令和5年度は千葉県文化会館の大規模改修に伴う休館による収入減や光熱費高騰の影響を受ける中、経費削減に努めるとともに、3館の積極的な営業活動や、国等の補助金獲得など、収入確保に取り組むことにより、令和5年度の目標値を達成すると、財務状況は良好であり、経営は安定している。		
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			その結果、経営計画における令和5年度の目標値を達成すると、財務状況は良好であり、経営は安定している。		
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			本県の文化芸術振興に一層貢献するため、引き続き、将来を見据えた安定的かつ持続的な経営に取り組んでいく必要がある。		
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算は受けていた。	12	1					

評点の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	5	10
2 経営体制	5	4	9
3 財務状況	5	5	10
4 県からの支援	5	4	9

※2「基準点」は、を超えていない場合は、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。

総務課による総括コメント	
経営状況等について問題がある事項は、特段見受けられない。関与方針に基づき団体による自立的な経営改善を維持し、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。	

